

VII. 世帯状況の変更

10月調査から、世帯状況の質問の前に「前回調査から変更があるか」の質問を追加した。
また、オンライン調査画面では前月の世帯状況の回答を表示する仕様とした。

1 各月調査の回答状況

オンライン調査画面では、前月調査からの変更「なし」を選択した場合、世帯状況の回答ページは表示されない。対し郵送調査では「なし」を選択しても世帯状況の回答ができる。
世帯状況についての回答結果（モニター数ベース）は次の図の通り。

(1) 10月調査（9月調査からの変更）

	web 調査						郵送調査					
	あり		なし		無回答		あり		なし		無回答	
「前回調査から変更があるか」の回答	56s		888s		2s		26s		824s		97s	
実際にF1～F8の回答変更	あり	なし		あり	なし	あり	なし	あり	なし	あり	なし	
	48s	8s		2s	0s	24s	2s	60s	764s	52s	45s	

画面制御により該当なし

(2) 11月調査（10月調査からの変更）

	web 調査						郵送調査					
	あり		なし		無回答		あり		なし		無回答	
「前回調査から変更があるか」の回答	76s		849s		1s		25s		832s		86s	
実際にF1～F8の回答変更	あり	なし		あり	なし	あり	なし	あり	なし	あり	なし	
	66s	10s		1s	0s	23s	2s	45s	787s	40s	46s	

画面制御により該当なし

(3) 12月調査(11月調査からの変更)

	web 調査						郵送調査					
	「前回調査から変更があるか」の回答	あり		なし		無回答		あり		なし		無回答
75s		839s		2s		15s		851s		67s		
実際にF1~F8の回答変更	あり	なし		あり	なし	あり	なし	あり	なし	あり	なし	
	70s	5s		1s	1s	12s	3s	32s	819s	23s	44s	

画面制御により該当なし

(4) 1月調査(12月調査からの変更)

	web 調査						郵送調査					
	「前回調査から変更があるか」の回答	あり		なし		無回答		あり		なし		無回答
80s		812s		2s		19s		833s		74s		
実際にF1~F8の回答変更	あり	なし		あり	なし	あり	なし	あり	なし	あり	なし	
	74s	6s		1s	0s	16s	3s	13s	820s	17s	57s	

画面制御により該当なし

(5) 項目別変更数

F1～F8の項目別の回答有無数、かつ前月回答からの変更有無数は以下の通り。

オンライン調査群

前画面で前月回答内容を表示し、変更なしの場合は、以降の画面表示なし

		10月	11月	12月	1月
世帯状況に 変更「あり」回答		56	76	75	80
F1:世帯主か	回答あり	56	75	75	80
	変更あり	5	3	2	2
F2:世帯主性別	回答あり	56	75	75	80
	変更あり	8	4	7	4
F3:世帯主就業	回答あり	56	75	75	80
	変更あり	8	9	11	8
F4:世帯主年齢	回答あり	56	76	74	80
	変更あり	22	37	45	45
F5:世帯人員数	回答あり	56	75	75	80
	変更あり	8	7	9	8
F6:世帯就業者数	回答あり	56	75	74	80
	変更あり	10	11	15	11
F7:世帯年間収入	回答あり	56	75	75	80
	変更あり	13	26	29	30
F8:主な所得	回答あり	56	75	75	80
	変更あり	8	4	6	8

		10月	11月	12月	1月
世帯状況の 変更有無が無回答		2	1	2	2
F1:世帯主か	回答あり	1	1	2	2
	変更あり	0	0	0	0
F2:世帯主性別	回答あり	2	1	2	2
	変更あり	0	0	0	0
F3:世帯主就業	回答あり	2	1	2	2
	変更あり	0	0	0	0
F4:世帯主年齢	回答あり	2	1	2	2
	変更あり	0	0	0	1
F5:世帯人員数	回答あり	2	1	2	2
	変更あり	0	0	0	0
F6:世帯就業者数	回答あり	2	1	2	2
	変更あり	0	0	0	0
F7:世帯年間収入	回答あり	2	1	2	2
	変更あり	2	0	0	1
F8:主な所得	回答あり	2	1	2	2
	変更あり	0	1	1	0

郵送調査群

		10月	11月	12月	1月
世帯状況に 変更「あり」回答		26	25	15	19
F1:世帯主か	回答あり	11	11	4	5
	変更あり	0	0	0	0
F2:世帯主性別	回答あり	11	11	4	4
	変更あり	2	0	1	0
F3:世帯主就業	回答あり	11	11	8	5
	変更あり	3	3	7	1
F4:世帯主年齢	回答あり	21	16	9	12
	変更あり	12	7	4	7
F5:世帯人員数	回答あり	13	16	6	11
	変更あり	5	7	1	5
F6:世帯就業者数	回答あり	13	12	8	7
	変更あり	5	6	5	4
F7:世帯年間収入	回答あり	12	15	5	8
	変更あり	6	10	2	5
F8:主な所得	回答あり	11	14	7	5
	変更あり	1	3	4	0

		10月	11月	12月	1月
世帯状況に 変更「なし」もしくは無回答		921	918	918	907
F1:世帯主か	回答あり	195	144	95	54
	変更あり	7	4	1	1
F2:世帯主性別	回答あり	193	141	94	54
	変更あり	13	4	7	1
F3:世帯主就業	回答あり	193	141	93	53
	変更あり	16	9	8	0
F4:世帯主年齢	回答あり	192	142	93	56
	変更あり	22	17	20	9
F5:世帯人員数	回答あり	192	142	93	56
	変更あり	9	7	4	1
F6:世帯就業者数	回答あり	194	139	91	54
	変更あり	32	24	12	6
F7:世帯年間収入	回答あり	192	140	93	53
	変更あり	55	49	29	15
F8:主な所得	回答あり	192	140	92	53
	変更あり	14	6	4	2

2 疑義照会

前ページの集計表で F1～F8 の回答に変更があったモニターのうち、

F1 回答者が世帯主か

F2 世帯主の性別

の 2 問について変更ありとしてモニターに、メールおよび電話にて疑義照会した。

疑義照会対象数と回答結果は次頁の図の通り。

(1) 10 月調査（9 月調査からの変更）疑義照会

		web 調査	郵送調査
実際に F1～F8 の回答変更あり		50s	136s
疑義照会対象		14s	28s
返信あり		12s	19s
変更理由	9 月調査と 10 月調査では回答者が異なる	0s	0s
	9 月調査と 10 月調査では別の人物を世帯主として回答した	1s	1s
	実際に世帯主の状況が変化した	1s	0s
	単純な回答誤り	10s	18s

変更理由 に該当すると答えたモニターの具体的な状況については、「世帯主の施設入所のため」とのことであった。

(2) 11 月調査（10 月調査からの変更）疑義照会

		web 調査	郵送調査
実際に F1～F8 の回答変更あり		67s	108s
疑義照会対象		13s	14s
返信あり		10s	11s
変更理由	10 月調査と 11 月調査では回答者が異なる	0s	1s
	10 月調査と 11 月調査では別の人物を世帯主として回答した	1s	0s
	実際に世帯主の状況が変化した	1s	1s
	単純な回答誤り	8s	9s

変更理由 に該当のモニターは、「主人が海外に転勤し混乱した」、変更理由 に該当のモニターは、「就職したため」とのことであった（ のうち 1s は具体的な状況未回答）

(3) 12月調査(11月調査からの変更)疑義照会

		web 調査	郵送調査
実際に F1～F8 の回答変更あり		71s	67s
疑義照会対象		12s	11s
返信あり		7s	7s
変更理由	11月調査と12月調査では回答者が異なる	0s	1s
	11月調査と12月調査では別の人物を世帯主として回答した	0s	1s
	実際に世帯主の状況が変化した	0s	0s
	単純な回答誤り	7s	5s

変更理由 に該当のモニターは、「モニター本人が不在で家族が回答した」

変更理由 に該当のモニターは、「義理の父が養子縁組みしたため(世帯主を義理の父としてしまった)」とのことであった(のうち1sは具体的な状況未回答)

(4) 1月調査(12月調査からの変更)疑義照会

		web 調査	郵送調査
実際に F1～F8 の回答変更あり		75s	46s
疑義照会対象		12s	7s
返信あり		8s	7s
変更理由	12月調査と1月調査では回答者が異なる	0s	0s
	12月調査と1月調査では別の人物を世帯主として回答した	0s	0s
	実際に世帯主の状況が変化した	0s	0s
	単純な回答誤り	8s	7s

VIII. 次年度以降の検討課題

オンライン調査では、回答を精査せず直感的に答えてしまう層が発生しうること、送信直後に回答をする層が多いこと等が確認された。そのため、これらの影響度合いを確認するため、例えば以下のような検証を進めていくことが考えられる。

- 選択肢の右から並べた場合と左から並べた場合、選択肢を横に並べた場合と縦に並べた場合の比較
- 設問の提示方法(例:1つの設問を1ページずつ表示)、「記入の仕方」や注意書きの提示方法(例:注意書きを提示した後次ページで設問を表示)の改善策の検討
- 画面サイズの違いによる回答傾向の違い
- 意識項目であるQ1～Q5とそうではないQ6との間の調査モードの違いによる効果の出方の違い
- 性別・年代・地域を固定した上でデバイス間の影響の違い
- 回答を精査しているか確認するため、「4番目をチェックしてください」といった項目を設けて質問文を設置
- 調査票送付日と回答日の設定方法 など

また、この他、研究会においては、

- これまでの消費動向調査ではなかなか捕捉できていない独り暮らし若年層へのアプローチ方法
- 調査客体をモニターではなく無作為抽出で選んだ場合における回答、回収率等の傾向の違い
- パーソナルメディアであるオンラインによる調査を、世帯調査である消費動向調査に導入するという観点での回答、回収率等の傾向の違い(例:世帯の状況ではなく個人の状況を調査してしまわないか等)
- 世帯内で回答者が変わることによる調査結果への変化
 - 2 例えば同一世帯の複数の者から回答を得て、そこで差があるかどうかを検証する

等についても検討を進めていくことが考えられるとの指摘があった。